

大阪府道路公社 経営目標（目標値）の変更について

【変更理由】

○R 7 年度経営目標については、R 7 年 5 月 22 日に開催された審議会においてご審議いただき、その際「償還準備金等積立額」のR7目標値（163.0億円）については、R 7 年 3 月にご審議いただいた中期経営計画の見込値（162.9億円）にR 7 年度の償還準備金等繰入額（0.1億円）を計上した値を設定。

○しかしながら、R 6 年度実績値は想定以上の交通量増加に伴う収入増等により、164.5億円となった。

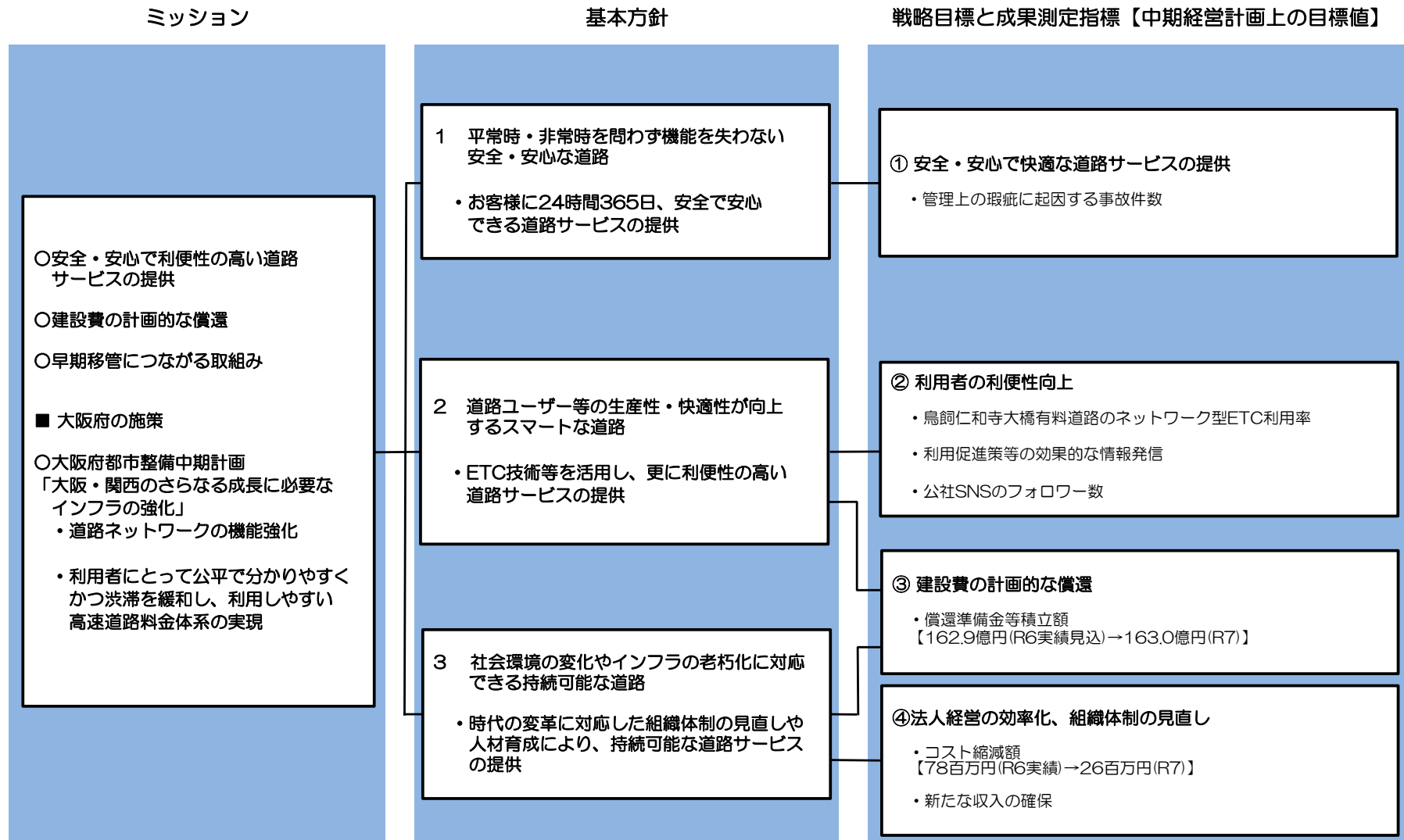
○本成果測定指標に当たっては、R 6 年度実績値（164.5億円）がR 7 年度目標値（163.0億円）を上回っていることから、R 6 年度実績値（164.5億円）にR 7 年度償還準備金等繰入額（0.1億円）を計上した値（164.6億円）へR7目標値の修正をお願いするもの。

目標値を修正する指標

指標名	R7.5.22審議時目標値	指標・目標値の修正等
償還準備金等積立額	163.0億円	⇒ <u>164.6億円</u>

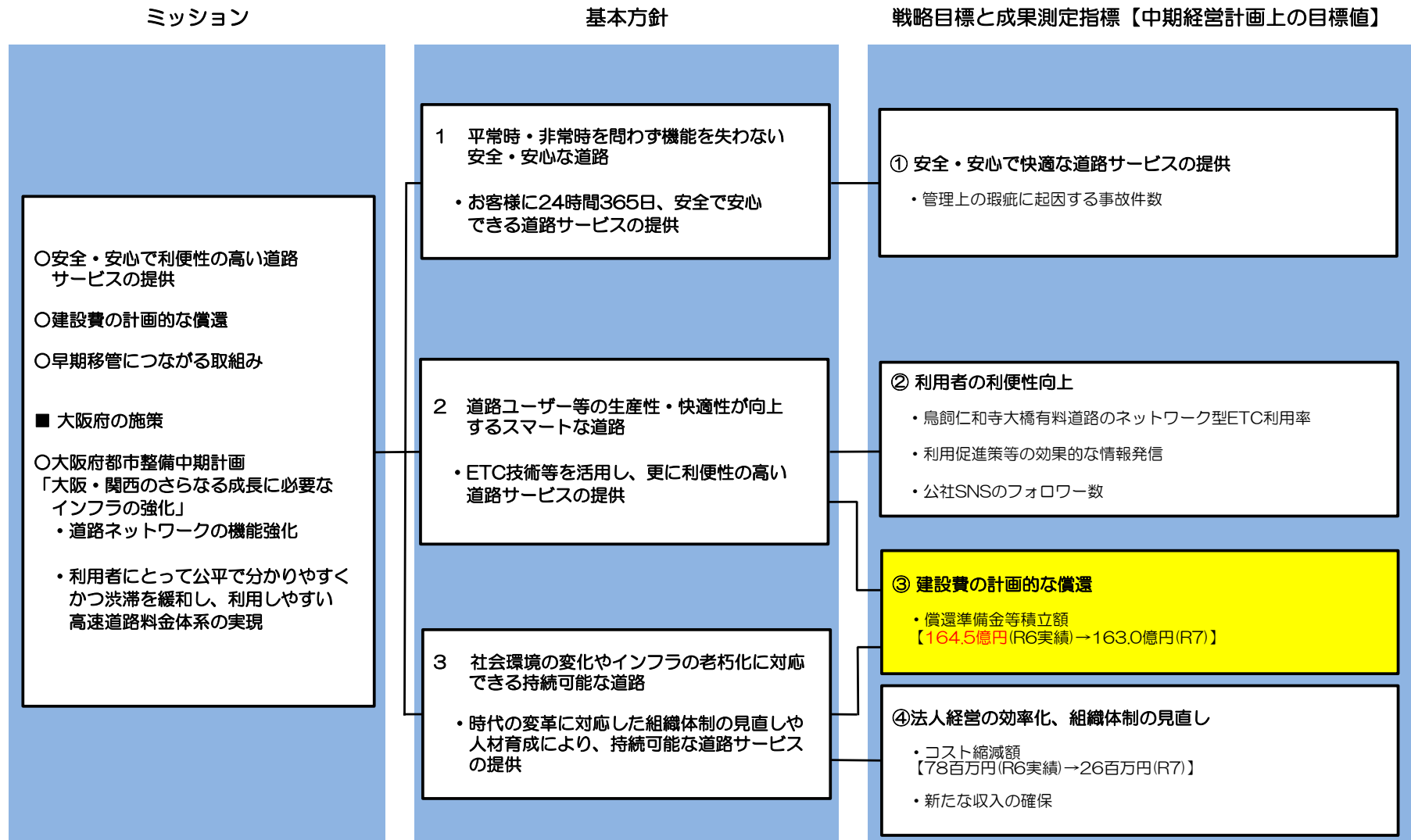
法人名	大阪府道路公社
作成(所管課)	都市整備部道路室道路整備課

○ 経営目標設定の考え方



法人名	大阪府道路公社
作成(所管課)	都市整備部道路室道路整備課

○ 経営目標設定の考え方



○ 令和6年度の経営目標達成状況及び令和7年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 ウエイト	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値 〔見込値〕	R7 目標値	R7 ウエイト	中期経営計画 (R4～R7)		R7目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R7 目標値	最終年度 目標値	
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		億円	45	156.4	159.4	〔162.9〕	163.0	45	163.0	163.0	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR7年度の料金収入、維持管理費等の費用見通しに基づき算定
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、 経営上の位置付け	○ 道路公社は、道路公社及び有料道路制度を定めた道路整備特別措置法等の根拠法令に基づき、府議会の議決を経て道路管理者である大阪府知事の同意及び国土交通大臣の許可を得た事業計画によって、事業を実施しており、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供することはもとより、建設費を収益と費用の差額によって償還していくことを経営の基本としており、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引き継いでいく。 ○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。										中期経営計画(2022～2025)に基づき、以下の取組みを継続して進めることにより、収支改善を図り、建設費の着実な償還を推進する。 ①コスト縮減等の具体的な取組み ○維持管理方法の工夫(LED照明の導入による電気コスト縮減、深夜帯の交通管理体制見直し等) ○管理水準の見直し(清掃の集約等による回数見直し) ○HPへの広告掲載料、自動販売機設置による賃料など新たな収入確保 ②利用促進の具体的な取組み ○鳥飼仁和寺大橋有料道路に導入したネットワーク型ETC利用率の向上をめざしたイベント実施 ○近畿圏の道の駅へ利便性のPRチラシ配架 ○観光協会等と連携した取組み等をInstagram発信 ○商工会議所と連携したイベント開催 ○大阪府内で利用者の多い北摂地域の住民へのPR活動 ○アンケートの結果、利用の多い近畿北部圏内から大阪方面利用者へ箕面有料道路の利便性をPR ○道路公社のホームページやXでの情報発信 ○郵便局と連携したイベント開催 ○物流業界と連携したイベント開催	
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	○ 近年の電力費や建設資材・労務費の高騰により、多大なコストが見込まれるため、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)の優先順位を見極めながら、効率的・効果的な維持管理を行う必要がある。 ○ 国の将来予測では、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にある中で、更なる通行料金収入の確保が必要となる。											
活動方針	○ R7年3月に策定した「中期経営計画(2022～2025)」に基づき、以下の活動方針に関する取組みを行う。 1 コスト縮減等の取組み 道路パトロール車のリース契約への見直しなど、新たなコスト縮減や新たな収入確保に取り組み、維持管理費の圧縮に引き続き、取り組む。 2 利用促進の取組み SNSを活用した情報発信の充実などを引き続き行うとともに、現在、主に利用されている大阪府北摂地域へのPRはもとより、広域的な利用者確保をめざし、京都府の亀岡市や南丹市などの近畿北部圏内利用者へのPRを実施し、更なる利用促進および知名度向上に引き続き、取り組む。 3 安全・安心で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 安全・安心で快適な道路、デジタル技術の活用推進等により、1人でも多くの利用者に通経路路として繰り返し選んでいただけるよう取り組む。										③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み ○日常的な維持管理業務の着実な実施(防災・料金収受設備点検等) ○計画的な維持管理 (鳥飼仁和寺大橋の橋梁耐震対策、補修等や箕面有料道路の舗装補修、設備更新等) ○利用者ニーズを反映したサービス向上 (鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率向上) ○デジタル技術を活用した利用者への情報発信や、業務の自動化・最適化等	

R7.8.8 目標変更案

様式2

法人名

大阪府道路公社

○ 令和6年度の経営目標達成状況及び令和7年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 ウエイト	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値 〔見込値〕	R7 目標値	R7 ウエイト	中期経営計画 (R4～R7)		R7目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R7 目標値	最終年度 目標値	
③ 建設費の計画的な償還	償還準備金等積立額		億円	45	156.4	159.4	164.5	164.6	45	163.0	163.0	継続2路線(鳥飼仁和寺大橋有料道路、箕面有料道路)のR7年度の料金収入、維持管理費等の費用見通しに基づき算定
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、 経営上の位置付け	○ 道路公社は、道路公社及び有料道路制度を定めた道路整備特別措置法等の根拠法令に基づき、府議会の議決を経て道路管理者である大阪府知事の同意及び国土交通大臣の許可を得た事業計画によって、事業を実施しており、安全・安心で利便性の高い道路サービスを提供することはもとより、建設費を収益と費用の差額によって償還していくことを経営の基本としており、料金徴収期間が終了した時点で、道路管理者に引き継いでいく。 ○ 従って、建設費を着実に償還することが道路公社における事業の根幹であり、総合的な指標である「建設費の計画的な償還(償還準備金等積立額)」を最重要の経営目標とする。										中期経営計画(2022～2025)に基づき、以下の取組みを継続して進めることにより、収支改善を図り、建設費の着実な償還を推進する。 ①コスト縮減等の具体的な取組み ○維持管理方法の工夫(LED照明の導入による電気コスト縮減、深夜帯の交通管理体制見直し等) ○管理水準の見直し(清掃の集約等による回数見直し) ○HPへの広告掲載料、自動販売機設置による賃料など新たな収入確保 ②利用促進の具体的な取組み ○鳥飼仁和寺大橋有料道路に導入したネットワーク型ETC利用率の向上をめざしたイベント実施 ○近畿圏の道の駅へ利便性のPRチラシ配架 ○観光協会等と連携した取組み等をInstagram発信 ○商工会議所と連携したイベント開催 ○大阪府内で利用者の多い北摂地域の住民へのPR活動 ○アンケートの結果、利用の多い近畿北部圏内から大阪方面利用者へ箕面有料道路の利便性をPR ○道路公社のホームページやXでの情報発信 ○郵便局と連携したイベント開催 ○物流業界と連携したイベント開催	
最重要目標達成のための 組織の課題、改善点	○ 近年の電力費や建設資材・労務費の高騰により、多大なコストが見込まれるため、責任ある道路の維持管理(道路施設や設備の定期的な点検、補修や更新などの対策)の優先順位を見極めながら、効率的・効果的な維持管理を行う必要がある。 ○ 国の将来予測では、自動車交通量(走行台・キロ)は減少傾向にある中で、更なる通行料金収入の確保が必要となる。											
活動方針	○ R7年3月に策定した「中期経営計画(2022～2025)」に基づき、以下の活動方針に関する取組みを行う。 1 コスト縮減等の取組み 道路パトロール車のリース契約への見直しなど、新たなコスト縮減や新たな収入確保に取り組み、維持管理費の圧縮に引き続き、取り組む。 2 利用促進の取組み SNSを活用した情報発信の充実などを引き続き行うとともに、現在、主に利用されている大阪府北摂地域へのPRはもとより、広域的な利用者確保をめざし、京都府の亀岡市や南丹市などの近畿北部圏内利用者へのPRを実施し、更なる利用促進および知名度向上に引き続き、取り組む。 3 安全・安心で利便性の高い道路サービス提供に向けた取組み 安全・安心で快適な道路、デジタル技術の活用推進等により、1人でも多くの利用者に通行経路として繰り返し選んでいただけるよう取り組む。										③安全・安心で利便性の高い道路サービスの提供に向けた具体的な取組み ○日常的な維持管理業務の着実な実施(防災・料金収受設備点検等) ○計画的な維持管理 (鳥飼仁和寺大橋の橋梁耐震対策、補修等や箕面有料道路の舗装補修、設備更新等) ○利用者ニーズを反映したサービス向上 (鳥飼仁和寺大橋有料道路のネットワーク型ETC利用率向上) ○デジタル技術を活用した利用者への情報発信や、業務の自動化・最適化等	